



2025-2026 年度 RI 会長メッセージ 「よいことのために手を取りあおう」

GOVERNOR'S
Monthly Letter



よいことの
ために
手を取りあおう

Rotary



フランチェスコ・アレツツオ RI 会長と。

国際ロータリー第 2510 地区 2025-2026 年度ガバナー 玉井 清治

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 11 丁目 4 大通藤井ビル 7F

TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512 E-mail : rid2510@pxva.ne.jp <http://rid2510.org>

ガバナー月信 vol.4 目次

佐々木 正丞 PG 訃報



佐々木 正丞 PG (札幌 RC)
2025年8月7日ご逝去
(享年 92歳)

2p

追悼メッセージ

2020-2021 年度
地区ガバナー
福井 敬悟
(札幌手稻 RC)



3p

2025-2026 年度
札幌ロータリークラブ
会長 武部 幸紀

ガバナー公式訪問報告

札幌南 RC

8/4 (月)



札幌はまなす RC

8/5 (火)



札幌大通公園 RC

8/5 (火)



余市 RC

8/6 (水)



小樽錢函 RC

8/7 (木)



当別 RC

8/19 (火)



札幌モーニング RC

8/20 (水)



恵庭 RC

8/20 (水)



札幌西北 RC

8/21 (木)



札幌幌南 RC

8/22 (金)



札幌ライラック RC

8/22 (金)



札幌手稻 RC

8/23 (土)



様似 RC

8/26 (火)



浦河 RC

8/26 (火)



えりも RC

8/28 (木)



Rotary
ROTARY INTERNATIONAL

OTHER CONTENTS

■ ガバナーメッセージ	1p	■ ハイライトよねやま	17p
■ 佐々木 正丞 PG 訃報	2p	■ コーディネーター NEWS	19p
■ ガバナー公式訪問例会報告	5p	■ 8月会員数・例会数報告	22p
■ ガバナーノミニー候補者推薦のお願い	13p	■ 地区大会のお知らせ	23p
■ 新会員のご紹介 /8月米山記念奨学会寄付・ロータリー財団	14p	■ 地区カレンダー 10月・11月	25p
■ 2026年台北国際大会のご案内	15p	■ ガバナー公式訪問に関するお願い ・ガバナー事務所からお願い	26p



今月の写真「白老駅」

三角屋根の牧舎風の駅で、アイヌ紋様のステンドグラスが特徴です。

(撮影日) 平成 24 年 4 月 28 日 : 玉井ガバナー



秋、原点に立ち返り未来へ — 地域と世界をつなぐロータリー —

国際ロータリー第 2510 地区
2025-2026 年度 ガバナー

玉井 清治
(函館亀田 RC)

酷暑の夏も終わりを告げ、秋の気配を感じる季節となりました。

会長、幹事の皆さんにおかれましては、ますますご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

新年度がスタートしてから早くも 3 ヶ月が経過し、それぞれのクラブにおかれましては、着々と本年度の事業計画を推進されていることと拝察いたします。7 月より始まりましたガバナー公式訪問も、現在、地区内ロータリークラブの皆さまとの対話を重ねる日々を過ごしております。

訪問先では、会長様の力強いリーダーシップのもと、クラブ一丸となって UNITE FOR GOOD に向かって邁進される姿に心を打たれ、また、クラブそれぞれが持つ個性と地域に根差した素晴らしい奉仕活動に触れ、ロータリーの奥深さと多様性に改めて感銘を受けております。

さて、10 月は、国際ロータリーが定める「地域社会の経済発展月間」、そして日本独自の「米山月間」です。

地域社会の経済発展について、2024 年の報告によれば、世界の極度の貧困人口は約 7 億人（世界人口の 8.5%）とされています。ロータリーは、こうした人々に生産的かつ持続可能な仕事の機会を創出し、地域社会の自立と経済発展を支援する奉仕プロジェクトを推進しています。地元起業家や地域リーダーの育成、職業訓練、女性の自立支援などなど。「人」に投資し、「地域」に希望をもたらす地域経済の発展は、ロータリーの七つの重点分野の中でも重要な使命です。

私たちも地区内で、身近な地域に根差したプロジェクトに取り組み、人々の暮らしに持続可能な改善をもたらす支援を続けてまいりましょう。なお、これらの活動には、ロータリー財団の地区補助金、グローバル補助金を活用することも可能です。特にグローバル補助金は、大規模かつ国際的なプロジェクトに道を開きますので、ぜひ積極的なご利用をお願い申し上げます。

また、10 月は「米山月間」でもあります。米山記念奨学会は、将来母国と日本との懸け橋となる外国人留学生を支援する、日本独自の国際奨学事業です。世界が混迷を深める今だからこそ、草の根の国際交流と相互理解の推進がより一層求められています。この機会に、各クラブにおかれましても、米山奨学生や地区委員の卓話を取り入れる、あるいはクラブフォーラム等で米山奨学事業への理解を深めていただき、改めてその意義と使命を共有していただければ幸いです。

さらに、10 月 24 日は「世界ポリオデー」です。ロータリーは地道にポリオ根絶活動を支えている人類史に残る偉業への挑戦です。本年度も地区を挙げて、ポリオ根絶への支援活動に取り組んでまいります。皆さんには、クラブ単位での啓発活動や募金活動へのご協力を心よりお願い申し上げます。

季節は日ごとに秋を深め、夜寒の候となります。どうか、体調管理にはくれぐれもご留意のうえ、引き続き、原点に立ち返りながら未来を見据え、ともに歩んでまいりましょう。

また、8 月 7 日に病気療養中であった 2010-2011 年度に当地区のガバナーをお務めになられました佐々木正丞バストガバナーがご逝去されました。佐々木バストガバナーのご遺徳を偲び謹んでお悔み申し上げます。

計 報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに心からご冥福をお祈りいたします。



佐々木正丞 PG (札幌 RC)
まさつぐ

2025年8月7日ご逝去
(享年92歳)

■略歴

生年月日 1934（昭和9）年4月21日生（島根県出身）
最終学歴 横浜国立大学経済学部卒

■職歴

1957年4月	北海道ガス株式会社入社
1982年6月	同 代表取締役・常務取締役
1986年7月	同 代表取締役・常務取締役・営業本部長
1988年6月	同 代表取締役・専務取締役・営業本部長
1990年6月	同 代表取締役社長
2002年6月	同 代表取締役会長
2008年4月	同 取締役相談役
2010年6月	同 相談役
2011年6月	同 顧問
2013年6月	同 顧問退任
2015年2月	同 名誉顧問

■ロータリー歴

1982年9月8日	札幌ロータリークラブ入会
1991～92年度	クラブ副会長
1998～99年度	クラブ会長
2010～11年度	国際ロータリー第2510地区ガバナー
2011～12年度	地区会員増強委員長
2012～13年度	地区 RI 国際大会推進委員長
2013～16年度	地区ロータリー財団監査委員長

ロータリー財団大口寄付者、ベネファクター
米山記念奨学会 メジャードナー

■賞罰

1996年 藍綬褒章



佐々木正丞 PG を偲んで

国際ロータリー第 2510 地区
パストガバナー

福井 敬悟
(札幌手稻 RC)

2010-2011 年度、佐々木正丞様が地区ガバナーを務められました折、私は第 4 グループガバナー補佐としてお仕えする光栄を賜りました。私は、25 年のロータリー歴はありましたが経験も浅く、不安を抱えておりましたが、佐々木パストガバナーは常に温かく、且つ的確なご指導をくださり、ロータリーの本質を学ぶ貴重な機会を与えて下さりました。

グループ会長・幹事会にも積極的ご参加頂き、その誠実なお人柄と確固たる信念に、深い感銘を受けたことを今なお鮮明に記憶しております。

その穏やかな笑顔と誠実なお人柄に触れ、私はロータリアンとして、またリーダーとしての在り方を深く心に刻むことが出来ました。

当時の日本は、政権交代後の政治の混乱や円高・デフレによる経済停滞に加え、2011 年 3 月には東日本大震災と福島第一原発事故という未曾有の国難に直面した時代でもありました。そのような社会不安のまっただ中にあって、ロータリーの存在意義が改めて問われた時期であったと存じます。

その中で、RI テーマ「地域を育み、大陸をつなぐ (Building Communities Bridging Continents)」を真摯に体現されようとするガバナーとしての姿勢でした。

クラブ・リーダーシップ・プラン (CLP) の推進によってクラブの活力を引き出し、ロータリーの長年の悲願であるポリオ根絶（撲滅）の重要性を強く訴え、地区社会奉仕委員会とともに「社会奉仕活動レポート」を作成し、我が地区での喫緊課題は言うまでも無く会員増強にあり、そのためには、「志」を持ったクラブの創造が肝心である事を訴え、ロータリーの奉仕活動に寄り添う姿勢を貫かれたことは忘れがたいものであります。

10 年後、私自身が 2020-2021 年度の地区ガバナーを拝命した際、佐々木パストガバナーの教えは常に私の道標となりました。未曾有のコロナ禍に直面し、クラブ活動が大きな制約を受ける中にあっても、佐々木パストガバナーが示された RI テーマ「地域を育み、大陸をつなぐ」そして「ロータリーを楽しむ・そして奉仕する」という理念を胸にロータリーの結束を保ち、奉仕の灯を絶やすことなく活動を続けることが出来ました。

ご逝去に接し、深い悲しみとともに、長年のご功績とご厚情に対する感謝の念が改めて込み上げて参ります。ロータリアンとしてのるべき姿を示して下さいました。その教えとお人柄は、これからも私どもの中で生き続け、次代のロータリアンへと継承されて行くものと確信しております。

ここに佐々木正丞パストガバナーのご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。



佐々木正丞 PG を偲んで

国際ロータリー第 2510 地区
札幌ロータリークラブ 会長

武部 幸紀

2010-2011 年度に国際ロータリー第 2510 地区ガバナーをお務めになられました札幌ロータリークラブの佐々木正丞会員が病気療養中のところ 2025 年 8 月 7 日にご逝去（享年 92 歳）され、私たち会員は深い悲しみに包まれています。

佐々木会員は 1957 年北海道ガス（株）に入社し、1990 年 6 月代表取締役社長就任、2002 年 6 月代表取締役会長、同社相談役、その後顧問を経て、現在は名誉顧問に就かれています。

1982 年 9 月 8 日に札幌ロータリークラブ入会し、1998-99 年度会長を歴任し、2010-11 年度の国際ロータリー第 2510 地区ガバナーを務められました。その後も様々な要職において、ロータリークラブの発展に寄与されました。1996 年には藍綬褒章を受章し、またロータリー財団メジャードナー、ベネファクター、米山記念奨学会メジャードナーなどもあります。

15 年振りに札幌ロータリークラブからガバナーを輩出するうえで、当クラブの伊藤義郎元 R I 理事（故人）が、「札幌 R C からガバナーを推薦するのであれば、それ相応しい企業の人でなければならないので、佐々木正丞会員を推薦したい」という鶴の一声で決まり、突然の推薦に佐々木会員は慌てて書店にロータリーに関する書籍を探しに行かれたとのことでした（勿論書店にはロータリーに関する書籍はなかったそうです）。

ガバナー在任中の 2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災では、直ぐに対策プロジェクトチームを立ち上げ、ガバナーカーの要請に応えて義捐金 1,400 万円の他に、更に 1,000 万円の浄財を募り復興を支援されました。支援は次年度の熊澤ガバナー年度にも引き継がれることとなります。今でもその即決即断のリーダーシップには敬服するばかりです。その反面、当クラブが主催した佐々木ガバナー年度の地区大会記念講演では、複数の候補者の中からキャスターの小谷真生子氏に決まったのは、佐々木パストガバナーが大ファンだったということで決まったというお茶目な一面もありました。

私のロータリーでの思い出は、毎年 12 月に開催される年末親睦家族会で幼かった私の息子や娘に気軽に声を掛けて可愛がって下さいました。また父が地区ガバナーになった際には親子共々大変お世話になりました。職業人として厳しい側面がありながら、私のような歳の離れた若輩者にも気を掛けて下さり、自分自身が職業人として今日があるのも佐々木パストガバナーの影響が少なからずあると思っています。

佐々木会員という偉大な先輩を失うことは、地区、クラブとしても一つの道標をなくした喪失感に苛されます。これまで佐々木会員が私たちに示して下さった教示をもとに歴史と伝統そして格式あるロータリークラブを継承してまいりたいと思います。どうぞ安らかにお休み下さい。心からご冥福をお祈り申し上げます。

ガバナー公式訪問例会報告

札幌南ロータリークラブ

8/4 (月)



8月4日（月）、玉井清治ガバナーと第5グループ菅原秀二ガバナー補佐が当クラブを公式訪問されました。

まず、会長・幹事懇談会では、当クラブの良き伝統として受け継いできた「なごやぎ」（なごやか、やすらぎなどを意味する当クラブ独自の造語）の精神についてご説明いたしました。また、当クラブの現状についても率直な意見交換をさせていただきました。

続いて、クラブ協議会では、各委員会の活動計画や運営方針を発表いたしました。ガバナーには熱心に耳を傾けていただいた上、講評及びアドバイスを頂戴いたしました。規律ある例会運営に取り組む方針や会員増強のツールとして用意しているパンフレットについて、特に感心されておられました。

ガバナー公式訪問例会では、会員増強への考え方などについて力強い卓話をいただき、会員増強を第一の運営方針とされるガバナーの熱い思いが伝わってきました。

玉井ガバナーの明朗快活なお人柄に触れ、会員一同今回の公式訪問を心より感謝しております。今後とも健康に留意され、ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

札幌はまなすロータリークラブ

8/5 (火)

当クラブは今年に入り 12 名の新入会員を迎え入れました。30代前半の若い世代にも入会いただき、フレッシュな意見を取り入れていただけるのではないかと期待しています。

そのような中、8月5日に玉井ガバナーを公式訪問としてお迎えして、ロータリークラブの本来の在り方をお話いただきました。

ロータリアン同士が親睦を深め、楽しむ場所であると言う原点に改めて気づかせていただきました。

また、強い者が生き残るのではなく、時代と環境に順応しながら変化していくかなければならないこと、それはロータリークラブにも言えることで、社会の価値観やニーズが急速に変化する中で、私たちのクラブもまたその変化に対応していくことが大事な事と考えています。

新しい世代の関心を引きつける楽しいクラブにして、若い世代も安心して入会できる環境を創り会員増強に繋がればと願っております。

ロータリークラブの伝統を未来へつないでいくためには、年配の私たち自身が変化を受け入れ、新たな視点を取り入れていくことが不可欠だと考えております。

ただし、ロータリークラブの伝統を否定するものではなく、伝統の本質を守りながら、時代に合った形で発展させていく事が大事ということを、この日参加した会員全員が再認識させていただきました。大変有意義な一日となり



ガバナー公式訪問例会報告

札幌大通公園ロータリークラブ

8/5 (火)



2025年8月5日(火)、玉井清治第2510地区ガバナーをお迎えして会長・幹事懇談会、およびささやかながらも歓迎の会が開催されました。

私たちのクラブの特徴やこれまでの取り組み、現状、今後の課題等についてお話ししましたところ、20数年前の立ち上げの頃からいち早くWEBを取り入れていることや、積極的な留学生の受け入れ等につき高い評価をいただきました。玉井ガバナーから貴重なお話しを頂戴した中で、どこのクラブでも頭を抱えている会員の離脱抑制や入会促進のための有力な方法の一つとして「WEB会員」制度のお話しがあり、当クラブでもこれまでの経験を活かして本格的な導入の方向で検討していくことになりました。歓迎会では、10月に開催されるガバナーの地元函館での第2510地区大会、来年6月の台湾台北での世界大会について興味深く楽しげなご案内がありました。

120年の伝統を誇る格式高いロータリークラブではありますが、21世紀の時代に合わなくなってきた部分も少なからずみられることから、現代社会に即した組織と活動の変革について真剣に考えていく時期に来ていることを玉井ガバナーとの話し合いの中で確認できました。これから時代を担う若い人たちにしっかりとバトンを繋いで行くために、フレキシブルで魅力あるロータリーを目指して参りましょう。

玉井ガバナーにはご多忙のところ、ご訪問いただきありがとうございました。

小樽銭函ロータリークラブ

8/7 (木)

2025年8月7日、小樽銭函RCの例会会場であるお食事処「四季采」に玉井ガバナーをお迎えして公式訪問が実施されました。

我が小樽銭函RCは会員数こそ10名ですが奉仕活動が盛んでクラブ協議会において各委員会より本年度の活動予定を説明致しましたが活動量の多さを評価していただきました。

例会では地区目標として玉井ガバナーが掲げている「Revival原点に立ち返り未来への繁栄へ」の意図するものが「奉仕活動も大事ではあるが、それだけではなくて会員間の親睦や、何より会員の事業、生業が良くならなければならない。」と言う説明には本音と建前を使い分けない玉井ガバナーらしい表裏の無い人間性を強く感じました。加えて国際ロータリーを含めてロータリーに対する疑問などは無いかなどを聞き取り、我々の意見も拾い上げていただき「それはすぐにやりましょう」などのお言葉もいただきました。玉井ガバナーのご趣味である鉄道駅写真と銭函との意外な接点などもお聞きすることが出来ました。我が小樽銭函RCと玉井ガバナーを身近に感じることが出来実りある公式訪問となりました。



ガバナー公式訪問例会報告

余市ロータリークラブ

8/6 (水)



8月6日、余市町内ホテル水明閣にて玉井清治ガバナー、笈川長生ガバナー補佐にガバナー公式訪問としてご訪問いただきました。

午前10時30分から当クラブの会長、副会長、幹事、副幹事との懇談会が行われ、会員拡大の難しさや組織運営の方法について意見交換させていただきました。

その後、11時30分からのクラブ協議会では各委員長から活動計画及び進行状況を発表、玉井ガバナーからそれぞれの活動計画に対し、感想及び具体的なご指摘、ご指導をいただきました。

また、午後1時の例会では、玉井ガバナーより現在の国際ロータリークラブの情報や今年度の地区活動方針、地区大会について報告いただきました。

他のクラブの事例を交えつつ、自身のクラブの特徴を十分に把握し、それを活かした運営がクラブの活性化につながるのではないかとのアドバイスをわかりやすくお伝えいただき、当クラブとしましても、今回いただきましたアドバイスをもとに今後の活動に活かしていきたいと考えております。

改めまして、この度は当クラブの公式訪問にご出席くださいまして誠にありがとうございました。

当別ロータリークラブ

8/19 (火)



晴天に恵まれたこの日は10:30より会長・幹事懇談会、11:30よりクラブ協議会が行われました。クラブ協議会での活動報告についてはガバナーより「地域に根ざして力強い奉仕活動を行っている」との講評を頂きました。また活動の際にPRのためにクラブベストの着用などの工夫があるとより地域に理解されて良いとアドバイスも頂戴しました。新会員へは「ロータリーは皆同等です。僭越などと思わず100%自分の思いをぶつけていただきたい」と新会員さんへの激励とクラブを良い方向に導くアドバイスも頂きました。

「最終的に自分の事業所が良くなる、自身も磨かれるということがロータリーの目的にある」こと。また「第2510地区内にどのような職業のロータリアンがいるのか、絆を深めるための仕組みをグーグルマップなどを活用して皆様にお知らせしたい」などのお話が印象に残りました。今年1年、玉井ガバナーと大いにロータリーを感じながら充実した活動ができるようにしたいと思います。

ガバナー公式訪問例会報告

札幌モーニングロータリークラブ

8/20 (水)

第 2510 地区の玉井ガバナーが札幌モーニング RC の朝例会にお越しになり、私たちに貴重なご講話をいただきました。

ガバナーは、長年にわたり伝統を育んできた朝のロータリークラブの活動に深く敬意を表され、その独自性と価値を称賛されました。また、会員数の多寡ではなく、活動の充実こそがクラブの強さであると力強くお話しになりました。



さらに、地区大会について、誰もが楽しめる交流の場へと変革する具体的な計画をお話しくださいました。プログラムは午前に完結させ、終了後には持ち帰られる弁当を提供することで、遠方からの参加者にも配慮。従来の指導者育成プログラムを廃止し、著名なゲストを招いた全員参加型のコミュニケーションを重視する内容へと変更されます。

ガバナーのお話は、伝統を重んじながらも未来を見据えるロータリーの精神を改めて私たちに示してくださいました。そのご指導に心より感謝申し上げます。

札幌西北ロータリークラブ

8/21 (木)



去る 8 月 21 日 (木)、札幌西北 RC において、玉井ガバナー、池田ガバナー補佐をお迎えし、公式訪問例会を開催いたしました。午前 10 時 30 分からの会長・幹事との懇談会では、玉井ガバナーの気さくなお人柄に導かれ、札幌西北 RC の現状について率直に意見交換を行いました。続くクラブ協議会では、会員より現況報告や今後の取り組みに関する意見が交わされ、少人数クラブならではの結束力を活かした活動の方向性を共有いたしました。例会では、玉井ガバナーより「素晴らしいクラブである」とのお言葉に加え、「強いクラブとは決して人数の多さだけではない」との力強いメッセージを賜りました。さらに、本年度の会長方針ならびに地区運営方針について丁寧にご説明いただき、会員一同が改めてロータリー活動の意義を確認する機会となりました。最後に記念写真を撮影し、公式訪問を締めくくりました。玉井ガバナーのご指導と励ましを胸に、当クラブは「明るく、楽しく、出席しやすいクラブ」という理念を大切に、今後も活動を推進してまいります。

ガバナー公式訪問例会報告

惠庭ロータリークラブ

8/20 (水)



8月20日 恵庭RCにて玉井清治ガバナー、第7グループ橋功記ガバナー補佐をお迎えしてガバナー公式訪問が開催されました。

ガバナー公式訪問例会に先立ち、会長・幹事エレクト懇談会、クラブ協議会が執り行われ活発な意見交換が行われました。

会長・幹事エレクト懇談会では、クラブの「変化」の必要性についての内容が中心となり、例会開催の方法、新会員のお試し期間設定、財務改革では食費分離や例会数など、「規約内での時代に合わせた変化の必要性」を他クラブの動向やアイディアなど具体的な例を交えご説明いただき、「守っていくもの」と「変えていくべきもの」を踏まえ、若い会員たちの意見も積極的に取り入れ変化させてほしいとのご提言でした。

それがクラブの充実につながり会員増強につながっていくのでどんどん変化を！という心強い激励の言葉をいただきました。

クラブ協議会では各委員長から今年度の事業内容を発表をしていただき、恵庭RCの特徴や方向性をお示しでき、ガバナーから助言とご講評をいただきました。

その後、恵庭RC会員全員に加え、ポリオ根絶活動でバイクで日本一周をしながら各地のクラブを訪問している岐阜中RC故金正司（カルガネマサシ）会員と滝川RC会長エレクトの入井浩樹（イリイヒロキ）会員もビジターで迎え一緒に昼食後例会を開催し、故金会員にご挨拶いただいた後に玉井ガバナーよりご講演を賜りました。

今年度は「会員増強」がテーマとのことで、ロータリーとその活動内容を広め若い力も取り入れ会員増強にというご講演と地区大会参加への呼び掛けをいただきました。

橋ガバナー補佐からも恵庭RCとのつながりが深いと嬉しいとの挨拶も頂きました。

例会終了後、会場と外で故金会員のバイクを囲んでの記念撮影をして、終始和やかな雰囲気で開催できたことに感謝いたします。

そして、我々恵庭RC会員一同は、積極的により良い方向に変化をもたらしながらロータリー活動の今後を活性化できるよう邁進してまいります。

お忙しい中、貴重なお時間、アドバイスをありがとうございました。

ガバナー公式訪問例会報告

札幌幌南ロータリークラブ

8/22 (金)

2025年8月22日、当クラブに玉井清治ガバナー、菅原秀二ガバナー補佐をお迎えし、公式訪問が行われました。会長・幹事懇談会では、ガバナーより「要望を含め、どのようなことでも率直に伝えてほしい」とのお言葉をいただき、大変有意義な懇談となりクラブとして自由に意見交換できる雰囲気を感じました。

また、佐藤和広会長から報告のあった「会長方針・リスタート」の考えに対し、ガバナーより感謝と賛同の意が示されました。

クラブ協議会では、各委員長・部門長より本年度の活動計画が発表され、力強いスタートが確認されました。例会では、玉井ガバナーより間近に迫る地区大会への想いが語られ、多くのロータリアンに参加いただき楽しんでもらえる仕組みづくりを実行に移したとの報告を伺い、会員一同の理解と期待が深まりました。本公式訪問を通じ、当クラブの活動方針が改めて確認され、また、ガバナーにご指導をいただく貴重な機会となりました。今後のクラブ運営に大いに役立ててまいります。



札幌ライラックロータリークラブ

8/22 (金)

この度は、ご来訪をいただきありがとうございました。参加した会員もわたくし自身も、玉井ガバナーのお言葉により刺激を受け意欲が湧いてきております。本当にありがとうございました。

我々は発足からまだ7年のクラブです。会員は11名で例会も公共の会議室で行うなど他のクラブとは比較にならない小規模クラブです。研修会やセミナーで他のクラブの方とお話する機会では、我々には到底できないスケールの活動をされており、もっと力をつけなければならぬと思う日々でございます。

今回の公式訪問では、力を付けるためのアドバイスをいただこうと考えておりましたが、ガバナーより「今後はライラックのような経費をかけない例会が増えていくかもしれませんね」とおっしゃっていました。低予算で運営費を確保し、ニコニコでなんとか活動している我々にそのようなお言葉をいただき安堵いたしました。クラブには最低限行わなければならない活動や寄付などはありますが、それ以外のことは会員間の親睦行事が中心となっています。この点についても今年はどうするか悩んでおりましたが、玉井ガバナーからは楽しくなければクラブじゃないと励ましのお言葉もいただきました。

公式訪問後は、例会参加率が上がり、地区大会参加者も例年では会長・幹事だけでしたが、今年は6名参加となりました。

玉井ガバナーの励ましに会員全員が心を動かされたのだと思います。

今年は2つのテーマを掲げ実施に向けて動き始めました。計画発表時は会員の反応は薄かったですが、公式訪問後は積極的に提案そして行動する方が多くなりました。これも玉井ガバナーのおかげだと思います。

今期、会長を引き受ける際に皆の気持ちを向上させるにはどうしたら良いかを考えましたが、玉井ガバナーがすべて整えてくださいました。とても感謝しております。この流れを維持しつつ期末には良い報告ができるよう会員と共に活動してまいります。

この度はお越しいただき誠にありがとうございました。地区大会でお会いできることを楽しみにしております。



ガバナー公式訪問例会報告

札幌手稻ロータリークラブ

8/23 (土)

① 会長・幹事懇談会

ガバナー公式訪問に先立ち、会長・幹事懇談会が開催されました。限られた時間ではありましたが、非常に率直で実りある対話が交わされました。玉井清治ガバナー（以下ガバナー）には、当クラブの石川信行会長、砂川修会長エレクト、それぞれの想いや課題認識を真摯に受け止めいただき、深い傾聴と共感をいただいたことに、心より感謝申し上げます。



議論の中では、クラブ運営における課題として、若手会員の離脱やクラブの活力の低下、デジタル化の遅れが挙げられました。ガバナーからは、現状を憂うだけでなく、前向きな改善への視点と励ましをいただき、今後の取り組みに向けた意欲が高まりました。

② クラブアッセンブリー

続いて行われたクラブアッセンブリーでは、各委員会・部門からの活動報告が行われました。それぞれの委員が、日頃の取り組みや課題、今後の展望について説明し、クラブ全体の方向性を共有する貴重な機会となりました。ガバナーからは、各報告に対して力強く温かいコメントをいただき、会員一人ひとりの活動がロータリーの理念に根ざしていることを再確認する場となりました。特に、地域社会との関わりや青少年育成への取り組みに対して高い評価をいただき、会員の士気が大いに高まりました。

③ ガバナー卓話・懇親会

例会では、ガバナーによる卓話が行われました。普段の活動ではなかなか聞くことのできない、ガバナーの視点から見たロータリーの意義や使命、クラブ運営に対する考え方など、深みのあるお話を伺うことができました。その後の懇親会では、和やかな雰囲気の中にも真剣な対話が交わされ、会員からの率直な質問や意見に対して、ガバナーが一つひとつ丁寧に応えてくださいました。今期最高の出席率を記録したこの場は、まさに「学びつながりの場」となり、会員同士の絆も一層深まりました。

まとめ

今回の公式訪問は、クラブが抱える課題を見つめ直すと同時に、ガバナーから多くの示唆と励ましをいただく機会となりました。デジタル化や若手会員の定着といった課題は依然として残りますが、それらに向き合う勇気と希望をいただいた一日だったと感じています。

ガバナーのご訪問に心より感謝申し上げます。今後とも、クラブ一丸となって前進してまいります。



ガバナー公式訪問例会報告

様似ロータリークラブ

8/26 (火)

今年度は会員数 5 名となり、国際ロータリーとしての活動は困難を極める状況であります。

そんな中でガバナー公式訪問が行われ、郡部の問題を共有して頂くべく「学校法人フレンド恵学園」フリースクール「森の学校」の視察を致しました。

昨年に引き続き、「四つのテスト」に照らして原点回帰の我がクラブは、例会時次世代のロータリアン勧誘をねらいとし「郷土さまに町を知ってもらう！」の事業展開をしている個人事業主をビジターとしてお招きし、白黒つけたい異色ガバナーとの時間を共に過ごして頂きました。ガバナーからのご助言を元に、容姿を変えたクラブの在り方を考える貴重な公式訪問となりました。



浦河ロータリークラブ

8/26 (火)

8月 26 日 浦河ウェリントンホテルにおいて玉井清治ガバナー公式訪問を執り行いました

16 時より会長・幹事懇談会

出席者

玉井清治ガバナー、第 8 グループ高橋裕之ガバナー補佐、飛山会長、幹事代理久保、菅

当クラブの現状と活動を説明

クラブは 21 名の会員で構成されております



当クラブは地域に根ざした活動、特に若い世代の人達との交流を重視例えば地元浦河高校生との交流。港の清掃活動が終わりましたらみんなで一緒に焼肉店へ行き腹一杯食べていただく。その間に少し私達の活動を理解していただけ。また出席者皆さんの自己紹介や生徒の皆様に地元に残るのか残らないのか等の対話をし、当クラブは会員同士が小さな町ですので和気あいあいと活動しているとの報告を行い次のクラブ協議会に進みました。

クラブ協議会では各委員長から活動計画を発表していただきました。

職業奉仕では先日、高橋ガバナー補佐がえりも町で短角牛 280 頭飼育している牧場施設とバーベキューハウスの見学とを焼肉を堪能してきました。

社会奉仕では新規の事業で青少年奉仕委員会と連携して子供食堂の取り組みを前進させたい。

国際奉仕については地元の産業まつりで高校生と交流してポリオ根絶寄付金を募り大変集客もあり、皆さんに理解を示していただきまして約 8 万円位寄付金が集まりましたと報告がありました。

玉井ガバナーから当クラブの活動計画に対して少数クラブでありますが地域に根の張った活動しているとのお言葉をいただきまして、クラブ協議会を終了し、その後は地元レストランで楽しい懇親会を行いました。

ガバナー公式訪問例会報告

えりもロータリークラブ

8/28 (木)



8月28日(木)、ガバナー公式訪問として玉井清治ガバナーがお越し下さいました。

11時30分より会長、幹事、各委員長との今年度の活動方針の説明などをし、人口減少地域ならでわの会員増強の難しさや対策などの話し合いし、12時15分より例会が始まり、社会奉仕にパートナールシップを巻き込む活動、ロータリークラブへの理解を求める活動、ロータリーのマークを他にも認識させる、ロータリー会員以外の人のイメージ向上などの活動や思いについてアドバイスを沢山頂きました。

大変有意義な時間を過ごさせて頂きありがとうございました。

2028-2029年度 ガバナーノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 玉井 清治
地区ガバナー指名委員長 石丸 修太郎

2028-2029年度地区ガバナーノミニー候補者として適格な会員が在籍しており、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長（地区ガバナー事務所気付）宛に、指定の書式にてご推薦ください。

(書式はガバナー事務所にお問い合わせください)

なお、地区ガバナーノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第16.010.節～第16.020.節の資格条件に適していることを要します。

[参考]国際ロータリー細則第12条（ガバナーの指名と選挙）

国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定

(1998-1999年度地区年次大会決議第8号)

2022年手続き要覧抜粋

新会員のご紹介

(敬称略)

長沼 RC



片岡 秀文

令和 7 年 7 月 1 日
情報システム開発
・サービス

滝川 RC



浦川 学央

令和 7 年 7 月 3 日
ガス事業

滝川 RC



前谷 尚武

令和 7 年 7 月 3 日
測量士

滝川 RC



西川 雅浩

令和 7 年 7 月 3 日
ホテル業

千歳セントラル RC



富岡 豊

令和 7 年 8 月 5 日
旅館業

岩見沢 RC



廣島 貴人

令和 7 年 8 月 7 日
普通銀行

岩見沢 RC



吉田 司

令和 7 年 8 月 28 日
車両販売

苫小牧 RC



岸波 光弘

令和 7 年 9 月 5 日
地方銀行

※入会順

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

8 月の米山記念奨学会への寄付はありませんでした。

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

砂川 RC	北谷 好文	会員	(4回)	8月 27 日
江別 RC	菊田 政徳	会員	(3回)	8月 27 日
函館東 RC	平井 喜一	会員	(1回)	8月 5 日
函館東 RC	吉村 昭夫	会員	(2回)	8月 6 日

ポール・ハリス・フェロー

美唄 RC 高橋 一裕 会員 8月 29 日

2026年台北国際大会のご案内



第 2510 地区
RI 国際大会推進委員長 (PG)
松浦 光紀

2026年6月13日(土)から17日(水)まで、台湾・台北にて国際大会が開催されます。世界中のロータリアンが一堂に会し、友情を深め、共に未来を語り合う場として、意義あるひとときを共有できるでしょう。開会式・全体会議をはじめ、多彩な公式プログラムや各種イベントが予定されています。

台北は歴史と文化が息づく国際都市です。魅力的な観光地、美味しい台湾料理など、訪れる人々を惹きつけてやみません。大会と併せて、台北の多彩な魅力を存分に味わっていただけます。

また、第 2510 地区では Regent Taipei Hotel にて「北海道ナイト」の開催を予定しており、皆さまとの絆をさらに深める特別なひとときとなるでしょう。

世界中のロータリアンが、皆さまと台北でお会いできる日を心より楽しみにしております。どうぞ皆さまをお誘いあわせのうえご参加ください。

お申込み締切

2025年12月25日(木)まで

日 程

2026年6月12日(金)～15日(月) 3泊4日

旅 費

お一人様 198,000円

<旅行費用に含まれる内容>

- 航空会社 エバー航空 エコノミークラス
- ホテル シェラトングランド台北ホテル 又は、同等クラス 2名1室利用 朝食付
- 専用車 1日目、4日目の空港～ホテル 往復送迎及、2日目・3日目の午前：ホテルから会場への移動
- 旅行手配料 予約手配、旅程管理費用

<旅行費用に含まれない内容>

- ・ 燃油空港諸税 26,000円 (2025年7月現在 ※変動あり)
- ・ 一人部屋利用料金 90,000円 ・ ビジネスクラス (その都度お見積りをさせていただきます)
- ・ 大会登録料 ・ RI 理事主催朝食会 ・ 北海道ナイト ・ オプショナルツアー (詳細は後日ご案内いたします)

【御取消条件】

国際大会の為、航空機及びホテルが非常に混み合い御取消条件が通常より非常に厳くなっています。

ホテル代は12月1日より全額かかるために以下の通りとなります。何卒、ご理解くださりお申し込みください。

- お申込後～11月30日 無料
- 12月1日～1月31日 100,000円
- 2月1日～3月31日 120,000円
- 4月1日～5月29日 140,000円
- 5月30日～6月10日 160,000円
- 前日・当日 旅行費用全額

【企画協力】 地区 RI 国際大会推進委員会 実行委員会

【旅行手配】 (株) 産経海外旅行 札幌市中央区北1条西7丁目タキモトビル4階 担当 斎藤、矢田目
TEL 011-271-5388 FAX 011-271-5621 e メール : saito@sankeikaigai.jp

2026年台北国際大会日程表

日数	日付	都市名	時間	交通	スケジュール	食事
1	6月12日（金）	新千歳空港 発 台北（桃園）着	13:00 16:20	BR165 専用車	エバー航空にて台北（桃園）空港へ 到着後、ホテルへ 夕食：ご希望の方はお食事処へ（OP） ＜台北 泊＞	昼：機内
2	6月13日（土）			専用車	午前：台北南港展覧会（TaiNEX）にて 大会受付、友愛の家 午後：台北郊外、十分、九份見学（OP） ＜台北 泊＞	朝：○ 昼： 夕：
3	6月14日（日）			専用車	朝：RI理事主催朝食会（圓山大飯店） 終日：国際大会開会本会議（台北ドーム） 午後：台北市内、見学（OP） 夜：北海道ナイト Regent Taipei Hotel 内 4階 VIPルーム予定（人気の中華料理） ＜台北 泊＞	朝：○ 昼： 夕：
4	6月15日（月）	台北（桃園） 発 新千歳空港 着	10:10 16:20	専用車 BR116	ホテルより空港へ エバー航空にて新千歳空港へ	朝：○ 昼：機内 夕：

※上記スケジュールは 2025 年 8 月現在予定であり、交通機関、当地施設の都合、その他状況で変更になります。

お申込み・お問合せ

（株）産経海外旅行
札幌市中央区北1条西7丁目 タキモトビル4階

TEL：011-271-5388
FAX：011-271-5621
MAIL：saito@sankeikaigai.jp

（担当：斎藤、矢田目）



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

vol. 306

2025年9月12日
発行

1 図書館プロジェクトにモンゴル米山学友会が協力

9月1日、モンゴル・ナライハ区の第109番小学校にて「図書館プロジェクト」の贈呈式が行われました。

このプロジェクトは、同校から「校内に図書館を整備したい」との要望を受け、モンゴル米山学友会が2023年に始動したものです。

学友会は同年より準備を進め、2024年10月

には、学友の世話クラブであった縁から、第2550地区(栃木)の下野上三川RCが現地を訪問し、30万円を寄付しました。さらに今年3月には、モンゴル国内の個人支援者の協力により、内装工事や家具・パソコンの整備が完了しました。しかし、蔵書購入のための予算は依然として不足していました。

そこで、同学友会はモンゴルを訪問中だった当財団の学友委員である嶋村文男氏に相談。嶋村氏の紹介により、第2820地区(茨城)の境RCが支援を申し出、8月31日に現地を訪問のうえ25万円を寄付しました。これにより、必要な蔵書を購入することができました。

贈呈式には、約2年にわたりプロジェクトに携わったモンゴル米山学友会をはじめ、各クラブや学校関係者が出席。子どもたちが笑顔で本を手にする姿に、大きな喜びが広がりました。



第109番校で贈呈式を開催

2 親子三代夏祭りで共に神輿を担ぐ

8月17日、千葉県で「親子三代夏祭り」が開催され、米山奨学生・学友14人、青少年交換留学生1人、さらに同地区の内村愛米山記念奨学会委員長を含む23人が参加しました。

「親子三代夏祭り」は、新しく千葉市に来た人も、昔から住んでいる人も一緒に楽しみ、誰もが千葉市を「自慢のふるさと」と感じられるようにと始まったお祭りで、今回は記念すべき第50回の開催となりました。

多くの地元住民が集まるこの場で、参加者たちは「地域で奉仕活動を行うロータリークラブを市民に知っていただくこと」や「米山奨学生・学友に日本文化を体験してもらうこと」を目的として参加しました。



神輿の前で記念撮影

米山奨学生・学友たちは、地区が製作したオリジナル半纏を着用して神輿を担ぎ、祭りの熱気と活気を肌で感じました。その後の懇親会では、感想を語り合いながら交流を深めました。

海外米山学友会総会情報

◆韓国◆ 2025年11月8日(土) ソウルパシフィックホテル開催

詳細未定のため、決まり次第お知らせいたします(前日7日に前夜祭開催予定)

3 | 寄付金速報 — 10月の米山月間に向けて —

前年同期比

-5.1%

普 -2.4% 特 -9.7%

8月までの寄付金は、前年同期と比べて5.1%減(普通寄付金:2.4%減、特別寄付金:9.7%減)、約1,480万円の減少となりました。半期に一度、地区から会員数を報告いただいているが、今

年度は81,250人と、前年から約640人減少しています。こうした状況の中、多くの方々から絶え間ないご支援をいただき深く感謝申し上げます。10月は米山月間です。当財団は内閣府より「公益財団法人」としての認定を受けていたため、当財団への寄付金には所得税、法人税の税制優遇が受けられ、相続税も非課税となります。来月も引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

4 | 理事会と評議員会を開催

8月22日に第48回理事会を都内にて開催しました。当団は、全国から27人の理事、3人の監事、役職理事7人が出席。また、今年2月より立ち上げられ、2026年1月まで協議される「中長期ビジョン検討タスクフォース(座長:相澤光春副理事長)」および「日本人海外留学支援検討タスクフォース(座長:服部良男学友委員会委員)」について、各座長から中間報告が行われました。若林紀男理事長が議長として進行役を務め、第1号~第7号の全ての議案につき、原案通り承認可決されました。

【第48回理事会の主な議案】

「海外学友会に対する業務委託にかかる覚書」一部改訂／2024年度事業報告／2024年度計算書類／2025年度収支予算書一部修正／2025年度専門委員選任ほか

また、9月10日には第17回定期評議員会を開催し、全国から評議員24人、役職理事7人と監事3人が参加しました。評議員会の開会に先駆け、故小沢一彦名誉理事長の追悼映像の上映と、黙とうを行いました。また、7月から活動を開始した第6代よねやま親善大使3人のうち、出席した2人がスピーチを行いました。

評議員会では、出席評議員の中から議長が選ばれることが定款で定められており、第2770地区の渡邊和良評議員が議長に選出されました。渡邊議長の進行で、報告事項として、①理事会決議報告②職務執行の状況報告③2024年度事業報告が資料に基づき説明され、続いて理事会から上程された「2024年度計算書類承認」などが諮られ、全て原案通り承認可決されました。終了後は評議員会研修会として、新公益法人制度や台北国際大会等の情報をお知らせしました。

5 | まもなく米山月間資料が届きます(9/22発送)

10月はいよいよ米山月間です。今年も米山月間用資料を全国の皆さまへお届けします。毎年恒例の『豆辞典』は、米山記念奨学事業についての情報がほぼ網羅されている小冊子です。会員数分お送りしますので、ぜひ1人一冊お手元にお持ちください。豆辞典を使って米山奨学事業を説明するためのパワーポイントは、9月中旬に当会HPで公開予定です。そのほか「クラブ米山記念奨学委員長のてびき(米山寄付金マニュアル合併版)」「2024年度事業報告書」「2024年度決算報告」「よねやま親善大使チラシ」、2025年6月に完成したばかりの「米山学友の群像vol.6」を送付します。追加資料のお申し込みは、同封の「追加資料申込書」に記入の上、お送りください。





コーディネーター NEWS

2025年10月号 No.1

発行 : Region 1, 2 & 3
RMC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC
行動計画推進リーダー
国際大会推進チーム

第1地域 台北国際大会推進チーム 岡村 瞳美 (川口 RC)

2026年台北国際大会は6月13日～17日に台北ドームにて開催されます。

日本チーム推進委員長は出村知佳子さん(第2510地区 札幌北ロータリークラブ)です。

「RI理事主催親善朝食会」は2026年6月14日7:00AMより圓山大飯店12階で執り行われます。私たち推進委員は一万人の登録参加を目指していきます。

台湾は日本から近く、多くのクラブが友好、姉妹関係を結んでおり馴染みの深い国です。

台湾の次に登録者数が多いことを目指しています。

ロータリー章典に記載がございます通り、国際ロータリーヤー次大会の主な目的は、国際レベルにおいて、全ロータリアンを刺激、鼓舞、激励し、かつ情報を与えること、ならびに組織の戦略目標を進展させるためのフォーラムとして機能することです。この年次大会は国際ロータリーの年次業務会合にもあたります。

国際大会の登録を許可されたものには 1.ロータリアン 2.ローターアクター 3.インターアクター 4.青少年交換学生 5.財団奨学生 6.ロータリアンではないロータリー学友 7.ロータリークラブ、各地区の職員 8.故人となったロータリアンのパートナーです。

国際大会への登録を希望するこの他の人は、資格のある大会登録者に同行する有料のゲストとして登録することができます。全ての国際大会登録者は、理事会が定めた該当する大会登録料を支払うものとします。故人となったロータリーシニアリーダーのパートナーがロータリアンではない場合は、ロータリアンのゲストとしてではなく、独自に国際大会に登録することが認められています。

国際大会では、ロータリーについて広報する重要な機会が与えられています。また、出席しているロータリー会員にクラブや地区の広報活動に関する貴重な指針と意欲を提供します。

国際大会中の全ての会議はロータリーに関連した話題について話されます。主な講演者、ロータリー会員ではない講演者の話には、話題をロータリーに関連づけるようなものになっています。

本会議におけるプレゼンテーションは、RI戦略計画と一貫性のあるものとなっています。

何といっても国際大会に参加すると自分が国際ロータリーの一員であるということを自覚し、大勢の多国籍の人達との友情を育む機会として貴重な体験ができます。

まさに国際ロータリーの一員であるという醍醐味を実感し、国際大会参加者は退会しないという過去の実績もあります。国際大会に参加することによってしか味わえない貴重な時間を皆様と共に過ごせることを願っています。

御家族、友人、ロータリー会員ではない方々にも、ぜひお声掛けいただきたく思います。

日本から一万人の笑顔で会場を埋め尽くしましょう！





コーディネーター NEWS

2025年10月号 No.2

発行 : Region 1, 2 & 3
 RMC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC
 行動計画推進リーダー
 国際大会推進チーム

ポリオ根絶に向けた草の根の運動

第2地域 ポリオ根絶コーディネーター(EPNC) 柳生 好春 (野々市RC)

先ごろ、2024-25年度「ポリオプラスへのクラブ参加率」が地区単位で明らかになりました。

第一地域平均86,09%、第二地域89,78%、第三地域83.55%と世界41地域中のトップスリーを占めました。100%地区も6地区あり、2540、2570、2820、2760、2780、2660の各地区です。

34地区平均は86,27%であり、世界の平均は61,9%となっています。

特筆すべきは、2021-22年度の34地区平均72,5%に対し、この3年間で13,77ポイントアップしたことです。ポリオプラスに対する理解と寄付が着実に進んでいることが分かります。日本のロータリーの素晴らしい1つです。

また、DDF20%以上寄付地区は第一地域では2510、2540、2550、2830、2840の5地区、第二地域は2580、2600、2610、2750の4地区、第三地域は2640、2650、2670、2680、2690、2710、2730、2740の8地区で世界41地域中、第4位の高額寄付地域となっています。

1988年にGPEIができた当時のポリオは125か国、症例数は35万人にも上りました。

現在はその当時から99,9%減少し、もう一步のところまでできています。そこで2016年にアメリカのオレゴン州から始まった「ポリオプラス・ソサエティ」(PPS)の認証制度が注目されます。毎年100ドルを「ポリオプラス基金」に寄付することを誓約することによって「ポリオプラス・ソサエティ」のメンバーとなるものです。メンバーになると登録証とピンバッジが贈呈されます。

日本ではいま、1人あたり30ドルをポリオプラスの寄付目標額としています。その金額に70ドルを上乗せしてもらえばよいのです。

R財団情報に「毎年、財団への寄付総額のうち500万~600万ドルは、25ドル~99ドルの寄付によるものである。すべての会員が毎年寄付すれば、人々の人生を変える持続可能なプロジェクトが可能となる。金額の大小ではなく、すべての寄付が大きなインパクトをもたらしている」があります。このような考えに基づき、PPSを推進することこそポリオ根絶の草の根の運動と言えるのではないでしょうか。

※GPEIとは「世界ポリオ根絶推進活動」で、RI(国際ロータリー)、WHO、UNICEF(国連児童基金)、CDC(米国疾病対策センター)、ゲイツ財団、GAVI(ワクチンアライアンス)の6団体がポリオ根絶に向けて連携している





コーディネーター NEWS

2025年10月号 No.3

発行 : Region 1, 2 & 3
RMC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC
行動計画推進リーダー
国際大会推進チーム

第3地域 ロータリー財団地域コーディネーター 堀川 貴史（熊本南RC）

ロータリー財団の年次基金-シェアへの寄付が、3年間投資された後に地区財団活動資金(DDF)と国際財団活動資金(WF)に配分されます(5%は運営費)。これをシェアシステムといいますが、2025-26年度から、各年度末に5年を超えて未使用であるDDFは、地区の裁量で、ポリオプラス、ロータリー平和センター、恒久基金、災害救援基金、WFのいずれかに再配分されます。地区が2026年6月30日までに資金の配分先をロータリー財団に通知しない場合、未使用のDDFは2026年7月1日にWFに充当されます。これは毎年多額のDDFが使われずに繰り越されることを懸念して2021年に制定されました。DDFを使用して財団を支援する方法について、各地区でご検討ください。



ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。その象徴がまさにポリオ根絶です。ロータリーでは1985年に「ポリオプラス」を開始し、1988年にWHOとともに「世界ポリオ根絶推進活動」を立ち上げ、活動してきました。現在はパキスタンとアフガニスタンを残すのみです。世界で最後にポリオが残っている地域が情勢不安定な地域であるのは偶然ではなく、疾病と戦争は古くから結びついているのだと、テドロス・アダノムWHO事務局長は昨年度の国際大会で語りました。

10月24日は世界ポリオデー。私には夢があります。それは「世界ポリオデーを、バレンタインデーのような市民行事に育てる」というものです。2月14日にチョコレートや花束を贈り合う姿が世界の街中でみられるように、10月24日には赤いTシャツを着た人々が街にあふれ、ポリオ根絶と世界平和が自然に語られる、そんな光景を思い描いています。

夢物語に聞こえるかもしれません、その第一歩は、私たち自身が踏み出すことから始まります。職場のスタッフと一緒に赤いTシャツを着る、「世界ポリオデー特別例会」を企画して赤いTシャツで揃える、インタークトやローターアクトと連携して地域でアピールする。小さな行動が社会を巻き込み、世界を変える大きなうねりに成長します。

それは単なるパフォーマンスではなく、社会に強烈なインパクトを与え、ロータリーの公共イメージを高め、寄付や協力の輪を大きく広げていきます。

制度の理解と寄付の活用が“内なる力”ならば、赤いTシャツは“外への発信力”。二つの力が世界を変える力になります。

ロータリーは「夢を現実にする組織」です。私たちが「ポリオをなくした世代」として歴史に名を刻む日が近づいています。近い未来の10月24日、街中が赤いTシャツで埋め尽くされ、子どもたちの笑顔があふれる光景を想像してください。その時、ある子どもが言うのです。

「このTシャツ、この街のロータリークラブから始まったんだって！」

8月会員数・例会数報告

グル ープ	クラブ名	例 会 数	会員数			
			2025.7.1	2025.8.31	増減	内女性
1	深川	3	28	30	2	2
	幌	3	33	32	-1	2
	留萌	3	22	22	0	4
	小計		83	84	1	8
2	赤平	3	20	20	0	3
	芦別	2	27	27	0	1
	砂川	2	41	41	0	2
	滝川	3	82	82	0	7
	小計		170	170	0	13
3	美唄	3	21	20	-1	2
	江別	3	32	34	2	2
	江別西	2	31	30	-1	2
	岩見沢	3	89	93	4	2
	岩見沢東	2	9	9	0	0
	栗沢	2	13	13	0	0
	栗山	3	22	23	1	4
	当別	3	27	27	0	3
	小計		244	249	5	15
4	札幌	3	105	121	16	4
	札幌はまなす	3	27	27	0	3
	札幌北	3	31	31	0	5
	札幌モーニング	3	34	34	0	0
	札幌西	3	44	45	1	8
	札幌西北	3	28	28	0	4
	札幌手稲	4	31	31	0	3
	小計		300	317	17	27
5	札幌東	3	95	99	4	3
	札幌清田	2	9	9	0	3
	札幌幌南	4	59	61	2	5
	札幌真駒内	3	18	18	0	5
	札幌南	2	74	74	0	4
	札幌大通公園	2	13	13	0	3
	札幌ライラック	3	11	11	0	1
	新札幌	3	19	20	1	5
	小計		298	305	7	29
6	岩内	3	30	30	0	1
	俱知安	2	34	35	1	4
	小樽	3	73	75	2	5
	小樽南	4	49	51	2	5
	小樽錢函	3	10	10	0	1
	蘭越	2	7	7	0	0
	余市	3	38	38	0	4
	小計		241	246	5	20

※岩見沢RCには岩見沢ネクストロータリー衛星クラブの会員数17名（内女性会員1名）を含む
 ※札幌西北RCには札幌西北ひまわりロータリー衛星クラブの会員数3名（内女性会員1名）を含む
 ※函館五稜郭RCには五稜郭すずらんロータリー衛星クラブの会員数7名（内女性会員0名）を含む

8月会員増減数

クラブ数	67
期首会員数	2,249人
当月末会員数(女性)	2,302人(199人)
増加会員数	53人

グル ープ	クラブ名	例 会 数	会員数			
			2025.7.1	2025.8.31	増減	内女性
7	千歳	3	78	78	0	11
	千歳セントラル	3	41	42	1	10
	恵庭	3	41	44	3	4
	北広島	3	18	18	0	2
	長沼	2	16	16	0	3
	小計		194	198	4	30
8	えりも	2	16	15	-1	1
	三石	3	10	10	0	0
	様似	2	5	5	0	1
	静内	3	55	54	-1	5
	浦河	4	21	21	0	3
	小計		107	105	-2	10
9	伊達	3	53	53	0	2
	室蘭	2	26	27	1	4
	室蘭東	2	29	29	0	2
	室蘭北	3	45	46	1	1
	登別	3	31	30	-1	2
	洞爺湖	2	11	11	0	1
10	小計		195	196	1	12
	函館	3	66	67	1	5
	函館亀田	3	29	30	1	2
	森	2	30	32	2	2
	七飯	2	14	14	0	0
	長万部	3	9	9	0	0
11	函館セントラル	3	26	25	-1	2
	小計		174	177	3	11
	江差	2	10	10	0	0
	函館五稜郭	4	46	54	8	2
12	函館東	3	32	34	2	5
	北斗	3	12	12	0	0
	小計		100	110	10	7
	白老	3	28	30	2	4
12	苦小牧	4	57	58	1	4
	苦小牧東	3	30	29	-1	7
	苦小牧北	3	28	28	0	2
	小計		143	145	2	17
合計			2,249	2,302	53	199



UNITE FOR GOOD

2025–2026年度
国際ロータリー第2510地区

地区大会

ホストクラブ

函館亀田ロータリークラブ



1日目

2025.10/11 土

会場 函館国際ホテル

- 14:00／登録開始
- 15:00／会長・幹事会
- 18:30／RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会及び大懇親会

2日目

2025.10/12 日

会場 函館国際ホテル

- 8:30／オープニング
- 8:40／本会議
- 12:40／閉会

上記プログラム及び時間は変更される場合がございます。

ご挨拶



国際ロータリー会長
フランチェスコ・
アレツツオ



ガバナー
玉井清治



地区大会
実行委員長
秋田正悦

歴史と観光のノスタルジックな街、函館より、心より皆様を歓迎申し上げます。

2025年10月11日(土)・12日(日)の2日間、国際ロータリー第2510地区の地区大会をここ函館にて開催いたします。

今回の地区大会は、「UNITE FOR GOOD(よいことのために手をとりあおう)」のメッセージのもと、地区内全てのクラブが一堂に会し、つながりと親睦を深めるかけがえのない機会として開催されます。

特筆すべきは、今回の大会が従来の形式にとらわれず、全ての参加者にとってより快適で、楽しく、そして思い出深い大会となるよう様々な工夫を凝らしている点です。

特に三つの大きな特徴を掲げております。

・第一に、遠方からご参加の皆様にも配慮した、ゆとりある

時間構成。

- ・第二に、全員が主役となる「RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会」ならびに大懇親会の開催。
- ・第三に、型にはまらない自由で開かれた本会議運営を目指し、心から楽しんでいただける地区大会といたします。

会場は、港町函館の中心に位置する函館国際ホテル。歴史的建造物や美しい坂道、活気ある朝市など、異国情緒と温かなおもてなしが皆様をお迎えいたします。

本大会では懇親ゴルフ大会は実施いたしませんが、その分、クラブの垣根を越えた語らいと、新たな友清を育むひとときを大切にしたいと考えております。

どうぞ、クラブの皆様とともに心をひとつにし、この函館の地でロータリーの原点と未来を感じる2日間をお過ごしください。



地区内
全会員の
参加を
お待ちして
おります



★基調講演

須田 慎一郎 (すだ・しんいちろう)

経済ジャーナリスト。1961年、東京生まれ。日本大学経済学部卒。経済紙の記者を経て、フリー・ジャーナリストに。テレビ朝日「ビートたけしのTVタッカル」、読売テレビ「ここまで言って委員会NP」、ニッポン放送「飯田浩司のOK! Cozy up!」、YouTubeチャンネル「別冊!ニューソク通信社」「真相深入り!虎ノ門ニュース」他、多方面で活躍中。

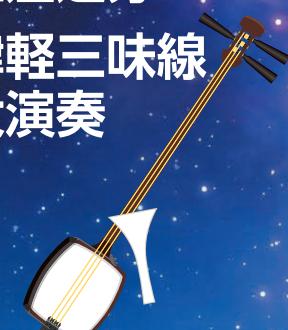
また、平成19年から24年まで、内閣府、多重債務者対策本部有識者会議委員を務める。政界、官界、財界での豊富な人脈を基に、数々のスクープを連発している。

須田慎一郎氏
「日本経済の表と裏」

星空の大晩餐会

★オープニング

①江差追分



②津軽三味線
大演奏

★石野真子スペシャルライブ



いしの まこ
石野真子

- 生年月日／1961年1月31日
- 出身地／兵庫県
- 血液型／A型
- 趣味／絵画・ビーズ刺繍・ガーデニング

50組限定
特別撮影会実施

代表曲

- ★狼なんか怖くない
- ★ジュリーがライバル
- ★春ラ!ラ!ラ!
- ★私の首領 他



★スパウス スウィーツ&ショータイム

出演者

亀ひろし、麗美

場所

旧北海道庁
函館支庁庁舎
(Jolly Jellyfish元町公園店)



亀 ひろし
(君小路あやまろ)



ニューハーフ
麗 美

ドレスアップ記念撮影会

●場所／旧函館区公会堂

希望者のみ



函館国際ホテル



〒040-0064 北海道函館市大手町5-10
TEL:0138-23-5151(代) FAX:0138-23-0239

登録料

会員	18,000円
ご家族	10,000円
新世代	7,000円
インナーホイール	12,000円
RI会長代理ご夫妻歓迎 晩餐会&大懇親会	12,000円

地区カレンダー 10月・11月

10月 地域社会の経済発展月間/米山月間	
1 (水)	
2 (木)	
3 (金)	
4 (土)	
5 (日)	
6 (月)	
7 (火)	
8 (水)	
9 (木)	
10 (金)	
11 (土)	地区大会(函館)
12 (日)	地区大会(函館)
13 (月)	スポーツの日
14 (火)	公式訪問(函館東RC、七飯RC)
15 (水)	公式訪問(森RC)
16 (木)	公式訪問(函館RC、北斗RC)
17 (金)	
18 (土)	小樽銭函RC創立50周年記念式典 ローターアクト協議会(千歳)
19 (日)	RLIセミナーパート I
20 (月)	公式訪問(洞爺湖RC)
21 (火)	公式訪問(函館セントラルRC、江差RC)
22 (水)	
23 (木)	
24 (金)	
25 (土)	
26 (日)	
27 (月)	
28 (火)	公式訪問(伊達RC、室蘭北RC)
29 (水)	公式訪問(室蘭東RC)
30 (木)	公式訪問(登別RC)
31 (金)	公式訪問(函館五稜郭RC)

11月 ロータリー財団月間	
1 (土)	
2 (日)	
3 (月)	文化の日
4 (火)	
5 (水)	
6 (木)	
7 (金)	
8 (土)	
9 (日)	
10 (月)	公式訪問(函館亀田RC)
11 (火)	
12 (水)	
13 (木)	
14 (金)	
15 (土)	千歳セントラルRC創立35周年記念式典
16 (日)	
17 (月)	ロータリー財団地域セミナー(横浜)
18 (火)	第2回ガバナーエレクトラーニングセミナー(横浜) ガバナーノミニーラーニングセミナー(横浜) 第2回ガバナーカー(横浜)
19 (水)	ロータリー研究会(横浜)
20 (木)	ロータリー研究会(横浜)
21 (金)	財団補助金管理セミナー(オンライン)
22 (土)	
23 (日)	勤労感謝の日
24 (月)	振替休日
25 (火)	
26 (水)	
27 (木)	
28 (金)	
29 (土)	
30 (日)	

2025-2026 年度 ガバナー公式訪問に関するお願ひ

2025-26 年度の公式訪問は「公式訪問日程」の通り 7 月 8 日、札幌西ロータリークラブから始まります。貴クラブへの訪問を有意義なものとするためにも、下記の事項についてお手配とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

1. 公式訪問に必要な書類

下記の書類は貴クラブ訪問日の 2 週間前までにガバナー事務所へお送り下さい。

- ①今年度（2025-2026）クラブ活動計画書と前年度（2024-2025）活動報告書
※公式訪問が 7・8 月のクラブの場合は、活動報告書は前年度分で代用可能です。
- ②クラブ細則
- ③会員名簿
- ④クラブ会報（最近の 4～5 回分）
- ⑤過去 5 年間の年度別会員入退会数および退会者のクラブ在籍年数
- ⑥貴クラブの特徴（クラブの自慢、良い事業等）を紹介下さい。

2. 会長・幹事懇談会

- ①会長・幹事の他に会長エレクトも必ずご出席下さい。

3. クラブ例会

- ①和やかで楽しく例会を行うためにも、より多くの会員に出席を奨励して下さい。
- ②ご連絡戴いた地元公共機関へのご挨拶は喜んで訪問させて戴きます。
- ③訪問時のお心遣いは、お気持ちだけ頂き固くご辞退致します。

ガバナー事務所からお願い

1. クラブの例会数・会員数報告について

毎月の最終例会から 15 日以内にガバナー事務所へ FAX かメールにて提出するようお願い致します。

2. 変更等のご報告について

新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例会場、例会日、時間の変更、会長、幹事等の移動の場合、所定の手続きによりご報告下さい。

新しく会員が入会された時は写真を添付の上、氏名、入会日、職業分類をお知らせ下さい。

また、会員にご不幸があった場合には、氏名、年齢、ロータリー歴、お写真を至急ご報告くださいますようお願い致します。

3. クラブの移動例会等について

地区ホームページにフォームがありますので、アクセスしてご連絡下さい。

地区ホームページ ⇒ 例会変更フォーム の順でアクセスできます。

(ホームページにアクセスが難しい場合は FAX、メールでお送り下さい)

4. ガバナー月信への原稿寄稿について

特にクラブの活動、トピックス、地域内の話題等、400字前後に写真 1～2 枚をご同封願えればと考えています。**原稿締切り日は毎月 5 日**です。（メールでのご連絡にご協力ください）